

☆印＝隔年実施事業（ ）＝定款第4条

## 公1 青少年の読書活動を振興するための活動の普及及び啓発事業

### ア 図書の選定

1. 学校図書館向き図書の選定……………【選定部】…(1)  
小・中・高等学校図書館向き図書を選定する「図書選定会議」を実施した。  
「図書選定会議」は、2022年7/11, 7/25, 8/22, 9/12, 9/26, 10/11, 10/24, 11/14, 11/28, 12/12, 2023年1/10, 1/23, 2/13, 2/27, 3/13, 3/27, 4/10, 5/8, 5/22, 6/12, 6/26の22回開催した。全国学校図書館協議会(以下、「全国SLA」という)が委嘱する選定委員が学校図書館向き図書を「全国学校図書館協議会選定図書」として選定する。その結果は機関誌『学校図書館速報版』で随時発表した。

### イ 読書調査

1. 「学校読書調査」の実施……………【調査部】…(2)  
青少年の読書推進や読書環境整備等に資するため、読んだ本の量、読んだ本の題名、読書生活などの実態を調べる「第67回学校読書調査」を実施した。この調査は、全国から抽出した小学校59校4,733名、中学校55校4,552名、高等学校47校4,806名の14,131名を対象に6月に実施した。結果は、読売新聞紙上および機関誌『学校図書館』（No.865号）にて公表した。
2. 「学校図書館調査」の実施……………【調査部】…(2)  
学校図書館の整備充実を図るため、学校図書館の蔵書、予算、職員、運営等の実態を調べる「2022年度学校図書館調査」を実施した。この調査は、6月に全国の小・中・高等学校から3%を無作為抽出（1,192校）に依頼し、小学校330校（回収率51.6%）、中学校194校（同53.9%）、高等学校114校（同59.4%）から回答を得た。結果は読売新聞紙上および機関誌『学校図書館』（No.866号）にて公表した。
3. 市区町村における学校図書館図書整備費予算化の実態調査の実施……………【調査部】…(2)  
全国の市区町村教育委員会に対して、令和5年度の学校図書館図書の整備費480億円を予算化するよう要請するとともに、全国の1,741市区町村教育委員会に対して2022年度の「学校図書館整備施策に関するアンケート」を6月に実施した。1,074教育委員会（回収率61.7%）から回答を得た。結果は機関誌『学校図書館』（No.871号）にて公表した。

### ウ 機関誌発行

1. 機関誌『学校図書館』および『学校図書館速報版』の刊行……………【編集部】…(5)  
機関誌『学校図書館』（月刊）および『学校図書館速報版』（月2回）を定期的に刊行する。『学校図書館』は、学校図書館や青少年の読書に関する実践や研究論文等を中心に掲載する。『学校図書館速報版』は、学校図書館や読書、学校図書館メディアに関する情報等を中心に掲載する。

### エ 各種コンクール

1. 青少年読書感想文全国コンクールの実施……………【プロジェクト】…(1)  
読書の習慣化を図り、豊かな人間性や考える力を育むことなどを目的とした「第68回・第69回青少年読書感想文全国コンクール」を毎日新聞社と共催で実施した。  
表彰式は2023年2月3日に経団連会館で開催した。コロナの影響で入賞者の一部のみの参加となった。  
①「青少年読書感想文全国コンクール 課題図書」  
全国SLAが委嘱する選定委員により、同コンクールで主催者が指定する「課題図書」として、「第69回青少年読書感想文全国コンクール 課題図書」18冊を選定した。
2. 読書感想画中央コンクールの実施……………【プロジェクト】…(1)

読書の感動を絵画表現することで読書力や表現力を養うことなどを目的とした「第34回読書感想画中央コンクール」を毎日新聞社と共催で、山口県・九州地区を除く38都道府県で実施した。表彰式は、2023年2月24日に如水会館で入賞者を招いて開催した。

①「読書感想画中央コンクール 指定図書」

全国SLAが委嘱する選定委員により、同コンクールで主催者が指定する「指定図書」として、「第35回読書感想画中央コンクール 指定図書」13冊を選定した。

**オ 優良図書の普及**

1. 「日本絵本賞」の授賞……………【プロジェクト】…(1)  
絵本芸術の普及、絵本読書の振興、絵本出版の発展に寄与することを目的に「第28回日本絵本賞」を授賞した。日本絵本賞大賞は、『PIHOTTEK:北極を風と歩く』(荻田 泰永/文 井上 奈奈/絵 講談社) 日本絵本賞は、『がっこうにまにあわない』(ザ・キャビンカンパニー 作・絵 あかね書房)、『ねこととり』(たての ひろし/作 なかの 真実/絵 世界文化社)、『橋の上で』(湯本 香樹実/文 酒井 駒子/絵 河出書房新社)に決定した。  
表彰式は、2023年6月22日に城西国際大学(紀尾井町)にて行った。
- ①「えほん50」「日本絵本賞最終候補絵本」の選定  
全国SLA絵本委員により、「2023 えほん50」および「第29回日本絵本賞最終候補絵本」を選定した。
- ②「絵本週間」の実施  
優れた絵本文化の発展と、学校や家庭への絵本読書の定着を目指して「絵本週間」を2023年3月27日から4月9日まで実施した。
- ③「日本絵本賞ポップ交流サイト」の実施  
読書活動として、「日本絵本賞最終候補絵本」を対象とした「日本絵本賞ポップ交流サイト」を実施した。投稿総数3,756編(小低952、小中1,178、小高932、中・高590、一般102)
2. 「夏休みの本(緑陰図書)」の選定……………【プロジェクト】…(1)  
全国SLAが委嘱した選定委員により、夏休み中に子どもたちにぜひ読んでほしい図書として、「第55回夏休みの本(緑陰図書)」40冊を選定した。
3. 詩のあん唱運動の実施……………【プロジェクト】…(1)  
読書活動の一環として第3回詩のあん唱コンクール(SOLASIDO)を開催した。応募総数185作品で、秋田優(愛知県・愛知教育大学附属岡崎小学校4年)に金賞を授与した。

**カ SLBAの図書の選定**

1. 「学校図書館図書整備協会(SLBA)選定図書」……………【プロジェクト】…(1)  
学校図書館の蔵書整備等を目的とした「一般社団法人学校図書館図書整備協会(以下「SLBA」という)」の委嘱を受け、全国SLAの選定委員が「SLBA選定図書」を選定した。

**キ 学校図書館出版賞**

1. 「学校図書館賞」の授賞……………【プロジェクト】…(1)  
学校図書館に関する運動、論文、実践の3分野での優れた実績顕彰する「第53回学校図書館賞」は、実践の部で茨城キリスト教大学兼任講師の勝山 万里子氏の「探究的な学習の基礎を育む学校図書館の実践～STARTプログラムの開発とその活用～」に授賞した。表彰式は、7月6日に城西国際大学大学1号館で実施予定である。引き続き「第54回学校図書館賞」を募集した。
2. 「学校図書館出版賞」の授賞……………【プロジェクト】…(1)  
学校図書館向き図書の出版を充実させることを目的に、優良な出版企画に対して出版社を表彰する。今年度は「第25回学校図書館出版賞」の授賞を行う。

**公2 学校図書館を充実発展するための活動の普及及び啓発事業**

《1. 研究・研修》

1. 学校図書館担当職員のためのスキルアップ及びリカレント教育の実施……………【研究調査部】…(1)  
司書教諭や学校司書等を対象とした「学校図書館実践講座」、指導主事を対象とした「指導主事研修会」を開催するほか、学校図書館の活用による授業実践報告を顕彰する「第3回情報活用授業コンクール」を開催した。優秀賞は、杉並区立高井戸東小学校（キハラ賞）、横浜市立本郷中学校、同志社女子中学校・高等学校（情報活用推進校）、福山市立松永中学校、静岡市立城山中学校（キハラ賞）、清教学園中学校に授賞した。
2. 「学校図書館セミナー」（仮）の開催……………【研究調査部】…(2)  
図書館総合展の主催・共催フォーラムのONLINE\_plus（11月1日～30日）「お悩み解決！著作権～GIGA スクール時代の学校図書館」を配信した。講師は、原口直氏（東京学芸大学こども未来研究所教育支援フォロー）、森田盛行氏（全国SLA顧問）である。
3. 学校司書資格及び研修制度の研究……………【プロジェクト】…(2)  
学校司書の法制化に対応して、資質の向上を図るための研修制度のあり方に関する研究成果を公表する。また、学校司書を対象とした「学校司書研修講座」7領域42講座を開催し、88名の申し込みがあり、延べ374名が受講した。
- ☆ 4. 「全国学校図書館研究大会」の開催……………【プロジェクト】…(2)  
「第43回全国学校図書館研究大会」をオンラインで8月3日～31日に配信した。テーマは「新しい教育を拓く学校図書館～ICT活用の新たな可能性～」。基調講演は群馬大学情報学部教授柴田博仁先生による「子どもの読書における紙とデジタルの使い分け～認知科学からの考察～」。講演及び32の分科会を期間中に何度でも視聴できるようにした。

## 《2. 資料・情報提供》

1. 写真ニュース『としょかん通信』の刊行……………【編集部】…(5)  
学校図書館や読書に関する情報および学校図書館の利用に役立つ情報を掲示用写真ニュースとして、月刊『としょかん通信』（小学生版・中高校生版の2種）を刊行した。
2. 各県SLAのWebサイト作成……………【プロジェクト】…(3)  
全国SLAのWebサイト上に各県SLAのWebサイトを開設し、県SLAの情報提供、研究会・研修会の募集、県SLA組織内の連絡等の利用に供した。
3. 各県SLA・各地区SLAへの訪問の実施……………【プロジェクト】…(3)  
組織訪問を通して、都道府県の現状を把握し改善のための支援策を講じた。
4. 各県SLA作成の刊行物の監修・作成協力等の実施……………【プロジェクト】…(3)  
刊行物の監修・作成協力等により内容の充実と刊行物の普及に努めた。
5. Webサイトメールマガジンの活用……………【プロジェクト】…(5)  
各県SLAおよび会員へ速やかな情報配信のためにメールマガジンによる情報発信を活用した。
6. 啓発図書の刊行……………【編集部】…(5)
  - ① 『心に届く読み聞かせ：プロが教える読み方の基本』（仮題）の刊行・普及。  
アナウンサーの目から見た読み聞かせの基本を紹介する単行本を刊行できなかった。
  - ② 『その蔵書、使えますか』改訂版の刊行・普及。  
学校図書館入門シリーズ第3巻『その蔵書、使えますか』を改訂して刊行できなかった。
  - ③ 『気になる著作権Q&A』改訂版の刊行・普及。  
学校図書館入門シリーズ第8巻『気になる著作権Q&A』増補改訂版を改訂して、刊行できなかった。
  - ④ 『みんなで学ぼう学校教育と著作権』改訂版の刊行・普及。  
『みんなで学ぼう学校教育と著作権』を改訂して、刊行・普及した。

## 《3. 学校図書館の充実発展》

1. 学校図書館振興の政策提言の推進  
第6次「学校図書館図書整備等5か年計画」による予算化運動及び、高等学校の図書整備施策策定に向けて活動を展開した。
2. 基準類の検討及び改訂・普及……………【プロジェクト】…(6)  
発表した基準類の見直し、検討を進めた。
3. 機関誌『学校図書館』及び『学校図書館速報版』の活用と普及……………【プロジェクト】…(3)

学校図書館に関する研究を深めるため、各県S L A等の協力を得て、機関誌『学校図書館』及び『学校図書館速報版』の活用と普及活動を行った。

4. 各県S L A事務局長会議の開催……………【プロジェクト】…(3)  
全国S L Aの事業、組織、活動について連絡調整を図るため各県S L A事務局長会議を、2023年2月2日にオンライン開催した。
5. 全国S L A研究協力員制度の検討及び委嘱……………【プロジェクト】…(3)  
全国S L Aが行う研究活動や研究成果の普及を図る「全国S L A研究協力員制度」について検討し、各県S L Aから研究、実践に熱心な教職員の推薦は無かった。
6. 各県S L Aへの研究助成……………【プロジェクト】…(3)  
各県S L Aの研究活動を支援するために研究助成を行った。

#### 《4. 研究視察》

1. 国内・海外学校図書館研究視察……………【プロジェクト】…(3)  
本年度は実施しなかった。

#### 《5. 事業の活性化》

1. 全国S L A学校図書館スーパーバイザーの拡充……………【プロジェクト】…(1)  
全国S L A学校図書館スーパーバイザーによる指導・助言により各地域や各校の学校図書館の活性化を図った。
2. 公益社団法人の財政再建……………【プロジェクト】…(6)  
新事業の展開と赤字事業の削減等により、公益社団法人として財政再建の基盤整備を進めた。
3. 学校図書館報告会の開催……………【プロジェクト】…(6)  
特別会員を招き、教育や学校図書館、情報メディアなどに関する報告会は、新型コロナウイルス感染症対策の為、開催を中止した。
4. 学校図書館研究資料室の整備充実……………【プロジェクト】…(6)  
学校図書館に関する資料の整備充実、コンピュータによる蔵書の管理と活用等の研究を進めた。

#### 附属明細書

「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」は、特に無い。